

第2回(公社)石川県柔道整復師会少年柔道「形」競技会開催要項

1. 趣 旨 講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である「投の形」を通じて少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
2. 主 催 公益社団法人石川県柔道整復師会
3. 日 時 令和7年5月11日(日) 午前9時00分 開会式 (毎年5月第2日曜日)
午前8時30分 審判監督会議
4. 会 場 松任総合運動公園体育館柔道場(啓武館) 白山市倉光4丁目22
5. 選手編成 1) 監督1名、選手2名
 - ア. 全柔連登録の道場で各道場1チーム、道場単位とし混成チームは認めない。
 - イ. 同日開催の少年柔道大会出場者の出場は認めない。
 - ウ. 1チームは下記のとおり2名、補欠は認めない。
 - エ. 選手は小学生(小学4年生以上)(小学3年生以下の出場は認めない)2) 大会運営は主催者に一任とさせていただきます。
3) 選手変更
 - ア. 選手変更は令和7年5月9日(金) 正午までに下記のところへFAXのみ申し出ることにより認める。
F A X 0 7 6 7 - 5 7 - 5 7 4 2
事務局 山田 俊志
6. 競技種目 投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本。
7. 競技方法 1) 「講道館柔道形競技規定」により行う。
 - ア. 演技者(組)による演技(礼法・服装、技の内容、全体の流れ)を審査する。
 - イ. 1チーム1回のみ競技をする。
 - ウ. 審査は、全日本柔道連盟公認形審査員及び石川県形指導員3名で行う。
 - エ. 審査員3名の評点の合計をその施技の得点とする。
 - オ. 順位は施技の得点の高い方を上位とする。
 - カ. 合計点が同点の場合、各評価項目の評点を見て、より低い評点のある方を下位とする。2) 救護は、石川県柔道整復師会会員が対応する。
8. 表 彰 優勝、準優勝、三位をそれぞれ表彰する。
なお、優勝チームは、日整全国少年柔道形競技会への出場権が与えられる。
9. 競 技 順 主催者側に一任とする。
 - ア. 抽選とする。
10. 傷害保険 スポーツ障害保険は、各自参加前に加入すること。
主催者側でも保険に加入します。負傷された時は大会救護所へ申し出ること。
応急処置後の一切の責任は負わない。

11. 参加料 無料とする。

12. 申し込み 〒920-0031 金沢市広岡2丁目3-26
石川県柔道整復師会館内 事務局まで
TEL (076) 233-2122(代) FAX (076) 233-2196
E-mail: ishiju@spacelan.ne.jp
締め切り 令和7年4月18日(金)正午厳守

13. その他

- 1) 試合当日、各チームの選手は背中にゼッケンをつけて参加のこと。
- 2) 参加申込書に記載された個人情報について大会プログラム、競技会場の掲示板に掲載されます。
- 3) 競技結果(記録)及び写真等について新聞及び本会ホームページ等において(写真・動画を含む)公開されることがあります。
- 4) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用する事はありません。大会申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾を頂いたものとして、対応します。